



人体模型になりきろう



7/31・8/8・8/21 小さな大学生！平成30年度きたもと子ども大学を開催

市内の小学4・5・6年生40人が大学生になり、なぜを追究する「はてな学」、郷土を知る「ふるさと学」、よりよく生きる「生き方学」の3つの分野を学びました。学習プログラムは、北里大学看護専門学校「人体模型になりきろう」、埼玉県自然学習センター「公園の草木で染物づくり」、武蔵野銀行北本支店「目指せ日本一の銀行員」、テレビ朝日の気象予報士「空のサインを見逃すな！どうやって天気予報を作るの」の4講座。参加児童は、夏休みならではの貴重な学びを体験していました。



目指せ日本一の銀行員



公園の草木で染物づくり



8/21 第3回イングリッシュ・サマー・プログラムを開催！

コミュニティセンターで第3回イングリッシュ・サマー・プログラムが開催されました。小学5・6年生38人が、市のALT（外国語指導員）4人と12人の中学生ボランティアの指導のもと、英語を使ったゲームを楽しみました。参加した6年生は「いろいろなゲームを通して、楽しく英単語を覚えることができ、英語が楽しいと感じました。」と笑顔で話していました。



9/19 テコンドージュニア世界大会のメダリスト達が表敬訪問

8月にベラルーシで開催された第13回ジュニア・第8回ベタランITF テコンドー選手権大会のジュニア男子団体トゥル（型）で優勝した高橋駿介さん（高校1年）、滝沢賢勇さん（高校1年）と同大会のジュニア女子団体トゥル（型）で3位になった関香純さん（宮内中3年）の3人が、市長を表敬訪問し、大会の結果を報告しました。3人は「世界大会という舞台に立ったことで、視野が広がると共に、いろいろな刺激を受けたので、今後の人生に生かしたい」と話していました。

人も支援も！子育てにやさしいまちを日々実感

親子で大好きな、文化センターで開催されている「子ども劇場」に行ってきました。

9月は「やぎさん一座の紙芝居」。手作りの紙芝居の中に、手遊びや歌などを織り込んだオリジナルのお話で、子どもたちのワクワクした表情と、「次はどうなるの?」と言わんばかりな前のめりで聞いている姿が印象的でした。子どもと一緒に、私も毎回楽しませていただいています。

北本に住みはじめて一年が経ちましたが、子ども劇場を含めた多様なイベント、子育て支援の様々な施策・施設などなど、北本ってとても子育てに優しいまちですね！でも、その中で一番感じたのが『人が優しい』ということ。子どもとのお出かけで困ったとき、何度市民の皆さんに助けられたことでしょうか。手を貸してくださったり、アドバイスや優しい言葉をかけてくださったり…。そんな時、育児で感じる孤独感や不安を少し忘れられたとともに、このまちを選んで良かったと心から思います。

話は戻りますが、文化センターでは、子ども劇場をはじめ、コンサートや季節の催しなど、魅力的なイベントが開催されています。芸術の秋に、ぜひ足を運んでみてはいかがでしょうか？



30年以上の歴史がある子ども劇場



北本に来て一年
今では娘もとまちゃんが大好き！

突撃！
市民リポーター



リポーター
飯嶋 沙織さん

詳しくは市ホームページへ

市民リポーター

検索

